

災害体験・ヒヤリハット体験集

～ 2011年版 ～

ここに掲載している災害体験・ヒヤリハット体験は、組合で開催した安全セミナーで、参加者に提供してもらった実際の体験です。

この貴重な体験を学び、自分の行動に活かしていくことで、私たちの職場から災害をなくしていくことができます。ぜひ活用してください。

以降のページには、災害体験・ヒヤリハット体験が記載されています。この体験を読んだ後、質問に対して「あなたが思うこと」をメモして下さい。

管理者の皆様へのお願い

月に1回でもよいですが、朝礼や終礼のとき、体験事例を1つ選んで、社員の方に原因と対策などをメモしてもらった後、その内容を話してもらってください。

その後、これからどのように運転するか、作業するか、みんな話し合ってください。この話し合いは、必ず災害防止に役立ちます。

なお、本書では、災害体験・ヒヤリハット事例を2～9ページまで計15例掲載しています。また、それぞれの事例の「参考回答編」を10～11ページに記載しています。話し合いの参考にして活用してください。

安全防災委員会一同

この災害・体験ヒヤリハット体験集とは別に、安全セミナーの講師である富取様がまとめてくださった、体験集もございます。

ご希望の方は、関東商組 事務局までご連絡ください。



富取講師編集
「事故事例 ヒヤリ・ハット
体験集 第3号」
72 ページ、325 事例掲載

関東商組 事務局
TEL 03-3833-4105
FAX 03-3833-4106
MAIL zengen.a@fuga.ocn.ne.jp

フォークリフト運転作業中①

【暴走寸前】

ギアをニュートラルにしたつもりでフォークリフトから降りたところ、動き出したので慌てて飛び乗り停止させた。

原因は？

想像も入れて考えてみてください。

対策は？

あなたがフォークリフトの運転手であった場合、どうしますか？



フォークリフト運転作業中②

【踏み間違え】

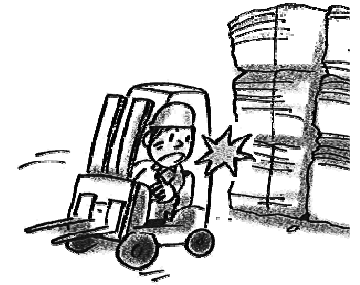
前進と後進のギアを入れ間違えアクセルを踏んでしまった。

原因は？

想像も入れて考えてみてください。

対策は？

あなたがフォークリフトの運転手であった場合、どうしますか？



【転倒寸前】

フォークリフトで急旋回したところフォークリフトが傾き転倒しそうになった。

原因は？

想像も入れて考えてみてください。

対策は？

あなたがフォークリフトの運転手であった場合、どうしますか？



フォークリフト運転作業中③

【乗り降り時の滑り】

雨天時にフォークリフトから乗り降りする時、滑ってしまった。

原因は？

想像も入れて考えてみてください。

・

・

対策は？

あなたがフォークリフトの運転手であった場合、どうしますか？

・

・



クランプリフト運転作業中①

【転倒寸前】

プレス品をつかんで持ち上げた際に、雨で水を吸っていて予想以上に重くなっていたため、後輪が浮き上がり転倒しそうになった。

原因は？

想像も入れて考えてみてください。

・

・

対策は？

あなたがクランプの作業員であった場合、どうしますか？

・

・



クランプリフト運転作業中①

【クランプ下敷き寸前】

大型トラックへ積み込み作業中、マストを上げたまま後退したところ、地面の段差にタイヤを取られ転倒しそうになった。

原因は？

想像も入れて考えてみてください。

・

・

対策は？

あなたがクランプの作業員であった場合、どうしますか？

・

・



重機運転作業中①

【押されてしまった…】

ショベルローダーで段ボールをコンベアに投入作業中、コンベアの近くにいた作業員も段ボールと一緒に押してしまった。

原因は？

想像も入れて考えてみてください。

・

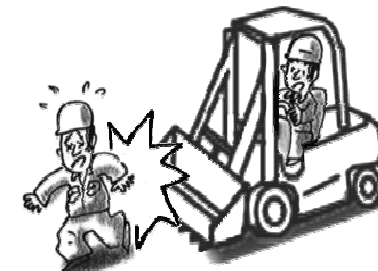
・

対策は？

あなたがショベルローダーの運転手であった場合、どうしますか？

・

・



重機運転作業中②

【排出作業中】

ダンプ式パッカー車の排出作業中、中に残って固まってしまった古紙をダンプしたまま取り除こうとした際、崩れ落ち、慌てて回避したらホッパーの角に頭を打ってしまった。



原因は？

想像も入れて考えてみてください。

・

・

対策は？

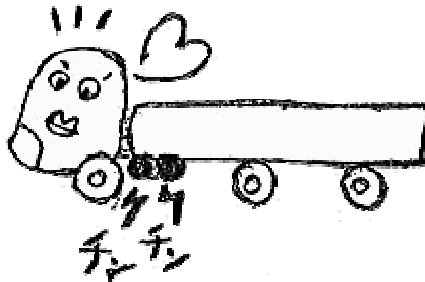
あなたが作業員であった場合、どうしますか？

・

・

【マフラーで出火寸前…】

パッカー車排出作業中、排出した古紙が過熱しているマフラーに接触し発火した。



原因は？

想像も入れて考えてみてください。

・

・

対策は？

あなたが作業員であった場合、どうしますか？

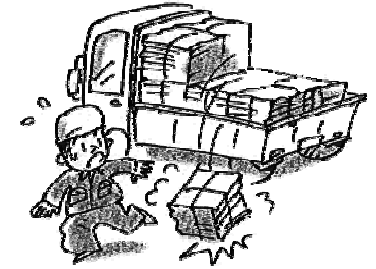
・

・

重機運転作業中③

【アオリが当たる寸前】

トラックの2段アオリの上部を取り外し、荷下ろし作業中にアオリが膨らんでいたので、開けた時に荷物が落下した。



原因は？

想像も入れて考えてみてください。

・

・

対策は？

あなたが作業員であった場合、どうしますか？

・

・

【複数人で誘導、接触寸前】

車両を誘導の際、複数人で誘導したため運転手が迷ってしまい、誘導員に接触しそうになった。



原因は？

想像も入れて考えてみてください。

・

・

対策は？

あなたが誘導員であった場合、どうしますか？

・

・

プレス機作業中①

【転落①】

段ボールの詰まりを取り除く作業をするため投入口を開き、身を乗り出して作業していたら、落下してきた古紙に当たり下に転落した。

原因は？

想像も入れて考えてみてください。

- ・
- ・

対策は？

あなたが作業員であった場合、どうしますか？

- ・
- ・



紐切り作業中

【古紙を踏んで転倒】

古紙の山の上で紐切り作業中、その上を歩いていた際、足を滑らせ転倒した。

原因は？

想像も入れて考えてみてください。

- ・
- ・

対策は？

あなたが作業員であった場合、どうしますか？

- ・
- ・



その他の作業中

【暗所でヒヤリ】

プレス機械周りの点検、清掃作業中、屋内が暗かったため階段に頭をぶつけてしまった。

原因は？

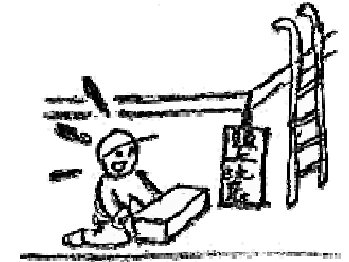
想像も入れて考えてみてください。

- ・
- ・

対策は？

あなたが作業員であった場合、どうしますか？

- ・
- ・



参考回答①

事例1 「暴走寸前」

- 原因 ・ギアの確認不足。
対策 ・サイドブレーキを引いたか確認する。

事例2 「踏み間違え」

- 原因 ・ギアの入れ間違え。
対策 ・慌てず落ち着いて操作、乗降する。

事例3 「転倒寸前」

- 原因 ・スピードの出し過ぎ。
・急ハンドルをきってしまった。
対策 ・構内の制限速度を設定し順守させる。
・ハンドルは急に切らない。

事例4 「乗り降り時の滑り」

- 原因 ・雨天時は滑りやすい事に注意を払っていなかった。
対策 ・滑りにくい靴を履くなど、滑り止めを施す。

事例5 「クランプ下敷き寸前」

- 原因 ・ハイマスト走行。
・周囲の状況の認識不足。
対策 ・作業環境を整え、周囲を把握し積み込みしやすい状態にする。
・フォークリフトの操作レバー、屋根の柱にハイマスト走行禁止の注意書きをつける。

事例6 「転倒寸前」

- 原因 ・プレス品の状態の確認不足。
対策 ・ここ数日の天候を把握し、プレス品の状態を触診し確認する。

事例7 「押されてしまった…」

- 原因 ・予想以上に荷物が広がってしまったため。
・周囲の状況を確認していなかった。
対策 ・重機に対して前方にいないようにする。
・運転手は作業員の位置を定間隔で確認する。

事例8 「排出作業中」

- 原因 ・ダンプしたまま作業してしまった。
対策 ・ダンプを下してから取り除く作業をする。
・安全バーを作動させ、エンジンを切る。

参考回答②

事例9 「マフラーで出火寸前…」

- 原因 ・マフラーが予想以上に過熱していたため。
・マフラーの位置を把握していなかった。
対策 ・マフラー付近の古紙を除去する。
・トラックごとのマフラーの位置を確認する。
・排出作業中は常に作業員をつける。

事例10 「アオリが当たる寸前」

- 原因 ・荷積み状態の確認不足。
対策 ・アオリを開く時は、常に荷崩れの前提を想定する。

事例11 「複数人で誘導、接触寸前」

- 原因 ・複数の指示をだしたため適格な誘導ができなかった。
対策 ・運転手に明確に指示を伝え、車両1台に対して1人の誘導員を付かせる。

事例12 「転落①」

- 原因 ・安全帯の未装着。
対策 ・コンベア、投入口やホッパー等のトラブル作業は必ず安全帯を着用する。
・1人作業は絶対にしない！
・状況を確認し、慎重な作業をする。

事例13 「転落②」

- 原因 ・荷物の過剰投入。
・安全帯の未装着。
対策 ・コンベア、投入口やホッパー等のトラブル作業は必ず安全帯を着用する。
・1人作業は絶対にしない！

事例14 「古紙を踏んで転倒」

- 原因 ・不安定な場所での作業。
・荷物状態の認識不足。
対策 ・危険と思われる場所での作業禁止。
・荷物の状態を確認して作業をする。

事例15 「暗所でヒヤリ」

- 原因 ・暗所のため危険箇所の把握が出来なかった。
・照明の不設置。
対策 ・危険箇所を調査し、照明やガード等を設置する。
・蛍光シール等で暗所の危険箇所を明確にする。